

令和 6 年度第 2 回西淀川区区政会議

1 開催日時：令和 6 年 9 月 12 日（木）午後 6 時 30 分～午後 8 時 18 分

2 開催場所：西淀川区役所 5 階 会議室

3 出席者の氏名：

（委員：敬称略、50 音順）

麻井、今前田、伊関、浦中、大垣、大西、岡崎、岡本、木村、竹内、寺垣、西垣、
樋口、平井、平林、藤江、松岡、森田、矢口、吉見

（事務局：西淀川区役所）

松田区長、楯川副区長、奥本総務課長、西尾政策共創課長、近藤地域支援課長、
木村安全まちづくり担当課長、松本窓口サービス課長、篠原保健福祉課長、山城
生活支援担当課長、横内こども福祉担当課長、足立保健主幹

（市会議員）

佐々木哲夫市会議員

山田かな市会議員

（府議会議員）

中川誠太府議会議員

4 議題

（１）グループ討議「西淀川区将来ビジョン（素案）」について

（２）その他

5 議事内容

○大垣議長

こんばんは。ただいまから令和 6 年度第 2 回区政会議を開催させていただきます。

事務局である区役所から本日の議事進行の説明をよろしくお願いします。

○西尾政策共創課長

皆さん、こんばんは。本日の会議は、現時点で19名の参加であり、定員27名の過半数を超えていることから、会議が成立していることを確認いたします。

次に、議事進行についてですが、議題は「1 グループ討議「西淀川区将来ビジョン（素案）」について」、「2 その他」を予定しています。

続いて、配付資料の確認をさせていただきます。まず1枚目、次第がございまして、続きまして資料1、西淀川区区政会議の配席図と委員名簿のホッチキス止めでございます。そして資料2「令和6年度第2回西淀川区区政会議のグループ討議について」、1枚物でございます。そして資料3として「西淀川区将来ビジョン2025（素案）」、これがホッチキス止めでございます。そして資料4「将来ビジョン（素案）に関するワーク」ということで、1枚物の資料でございます。そして資料5としまして、A3で「区政会議の質問・意見に対する回答及びその後の対応」ということになっております。そしてチラシとしまして、「MAID Oにしよど」のチラシと、健康いきいき展、そして野外音楽フェスティバル in 矢倉緑地の3枚の資料とさせていただいております。資料がない方等がございましたら、区役所職員に申し添えられましたら、後ほどでも結構でございますので、お持ちさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

この区政会議につきましては、ホームページや広報紙などで報告いたします。様子が伝わるように写真を掲載いたしますので、会議中に写真を撮らせていただきます。また、会議の様子を西淀川区区役所のY o u T u b eチャンネルでライブ配信しておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは議長、お願いいたします。

○大垣議長

それでは、議事に先立ちまして、区長からご挨拶をよろしくお願いいたします。

○松田区長

皆様、こんばんは。西淀川区長の松田でございます。

今日は非常にお足元が悪い中お越しいただきまして、またお暑い中お越しいただきまして、お忙しい中お時間を割いていただきましてありがとうございます。前回皆様とお会いしてからいろいろとありましたけども、特に先月 8 月は私にとって非常に印象深いというか、いろいろな出来事が山盛りの 1 か月でございました。まずやはり「巨大地震注意」という聞き慣れないワードが出てきて、区役所備えつけの防災マップがいろいろな言語を含めてどんどんなくなっていった、一部足りなくなっていくというような事象も起こりまして、改めまして皆様の防災に関する意識の高さみたいなものを再認識させられたというようなことがございました。その後しばらくすると、なかなか行き先が定まらない台風がやってまいりまして、右へ行ったり左へ行ったり、これまでのセオリーというのですかね、通用しないというか、これまでの常識とかセオリーを規定概念としてはめ込まずにラフに考えないと、「これからの災害はどこで何が起こるか分からない」というような緊張感を持って、我々も行政としてどんなことができるのかと、そんなことを考えていかなければならないのかなと思った 8 月でした。ただこの間、地域では慰霊祭、夏祭り、盆踊り、いろいろな行事がありまして、14 地域にご挨拶に回らせていただきました。改めまして地域のつながりの深さですとか、郷土愛ですとか、あるいは地域によってはすごく国際性豊かなイベントということで、西淀の良さを身をもって体験したような気がします。

月が替わりまして 9 月に入りまして、防災週間ということで、9 月 2 日には大和ハウスグループの大和物流という大手の物流会社と包括連携協定を結んでいます。これは防災面に特化した包括連携協定ですけれども、具体的には中島地域に大きな倉庫をお持ちなので、そこに例えば津波避難ビルの指定をしていただくだとか、災害時の物資を積み増ししていただくだとか、そんな部分のお話を今後詰めていきますけれども、この民間企業の経営資源活用という分野での西淀川区の防災力の強化という部分につきましては、信念を持って引き続き進めてまいりたいと思っています。

それで今週ですけれども、100 歳を今年度にお迎えになった方々にご挨拶と、ある

いは内閣総理大臣の表彰状、記念品をお渡しに回っております。昨日、今日とで7名の皆様にお会いしました。今年西淀川で100歳をお迎えになる方は23人おられるそうです。ちなみに最高齢は、西淀川区で108歳の女性の方がいるように聞いております。100歳の7名の方々にお会いしてきましたけれども、安心して心静かに100歳を元気に迎えらる、そんな町にしていくにはどうしたらいいんだろうと、そんなことをやりわりとずっと考えながら、今日帰ってきた次第でございます。

前置きが長くなりましたけれども、今日は区政会議第2回ということで、前回にいろいろなご意見を頂戴いたしまして、全てを文字に起こせたわけではないのですが、思いはきっちり受け止めさせていただいて、けじめとして整えさせていただいております。今日も議論をどうぞよろしくお願いいたします。

以上でございます。

○大垣議長

ありがとうございます。

それでは、議事を進めさせていただきます。事務局から説明をよろしくお願いいたします。

○西尾政策共創課長

それでは、事務局から説明をさせていただきます。資料番号が前後しますが、資料5「区政会議の質問・意見に対する回答及びその後の対応」からご説明させていただきます。

まず、資料5の項番号1番・2番・3番・4番で、「若年層の防災意識について高める必要がある」、「子どもたちを巻き込んで防災の取組をしなければならない」など、いろいろとご意見をいただきました。その中で対応としましては、令和4年4月から地域防災・減災に関する連携強化事業業務委託を実施し、若年層を対象とした防災イベントの企画・運営を進めているほか、令和5年度には、地域と小学校が連携した合同防災訓練、防災授業を実施いたしました。今後も引き続き若年層、子どもたち、

中学生・高校生に一層の防災啓発を行い、災害時に活動の担い手になっていただく取組を進めてまいりたいと思っております。

続きまして、項番号5でございます。ここでは、防災訓練について一斉訓練のマナー化についてご意見をいただいたところでございます。そして令和5年度からは、防災訓練の実施に当たり、全地域一斉防災訓練を改めて共通訓練と個別訓練の選択制として、個別訓練では、消防署や他機関が参加したり、学校と合同で防災訓練・防災授業をするなど、参加者がより楽しく体験できて主体的に防災活動に携わることができるように取り組みました。今後とも地域の特性や課題に応じた防災訓練ができるよう進めていきたいと考えております。

続きまして、項番号6でございます。「地活協を子どもたちが知る機会をつくるべきでは」とのご意見をいただいて、地活協の中心団体である町会をまず知っていただくよう、令和6年度から小学3年生を対象に、町会活動内容を紹介した冊子「町会ってなあに？」を事業の一環で活用し、啓発することとしています。4月に各学校に冊子を配付し、活用していただいております。

続きまして、項番号7です。「SOSを発信できない人々とつながるためにも、小さく身近な地域での顔見知りの関係が重要だと思う」とのご意見に対しまして、西淀川区総合相談連絡会において、各機関の相互理解を含めて気づきのポイントを話し合いまして、相談者のニーズの早期発見・介入や支援体制の構築ができることを目的として「に～よん相談機関連携シート」を令和6年3月に作成し、区職員も含めて支援機関や事業所で活用させていただいております。

最後の8番・9番でございます。「異業種交流会を開催し、区制100周年に向けて企業から意見を吸い上げるとよいと思う」とか、「子どもたちの視点から区制100周年に向けた面白い取組を行うためには、子ども版の区政会議などを開いてはどうか」ということで、回答としましては、地域住民、企業、ボランティア団体、NPO等メンバーの情報交換会「MAIDOにしよど」を今年の10月18日に、西淀川区社会福祉

協議会との共催で開催予定です。その情報交換会に高校生の参加を促して、西淀川区を未来に向けての意見交換を行う予定としております。先ほどご説明したチラシも配付しております。こちらの黄色いチラシですね、にしよどリンク拡大版「MA I D O にしよど」。ここで高校生も入って議論をさせていただきたいと考えておりますので、皆さんもぜひともここに参加していただいて、意見交換などをしていただけたらと思っていますので、よろしくお願いいたします。

説明については以上でございます。

○大垣議長

今説明がありましたけど、これに対して何かご質問がありましたらよろしくお願いいたします。何かありましたら、挙手でお願いします。

そうしたら、これでよろしいでしょうか。よろしいような頷きがありましたので、前へ進めさせていただきます。

それでは、またすみませんが、事務局から説明をよろしくお願いいたします。

○西尾政策共創課長

それでは続きまして、区政会議のグループ討議についてということで、資料2をご覧くださいませでしょうか。今回のグループテーマは、西淀川区将来ビジョン（素案）についてでございます。進め方につきましては、西淀川区将来ビジョン（素案）について、資料4「将来ビジョン（素案）に関するワーク」に1、2、3と書いておりますけれども、この順に検討していただきます。まずは各自で検討いただいて、その後グループ内でファシリテーターを1人決めて、発表・意見交換をしていただくということにさせていただこうと思っております。時間配分につきましては一応、下の表に書いてあるのを参考にさせていただけたらと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、グループ討議の前に、私から資料3「西淀川区将来ビジョン2025（素案）」について、簡単に説明させていただきたいと思えます。資料3をまず開いてい

ただきますと、2 ページ目は目次となっております、3 ページ目が将来ビジョンと
はこういったものですよということを書かせていただいています。

そして4 ページ目に西淀川区の概要ということで、大野川緑陰道路や矢倉緑地など、
豊かな自然と調和した都市環境があること、あと交通アクセスが便利であること、製
造業の従業員が24区中1 位であること、人口当たりの街頭犯罪発生数が24区最少で、
治安がいいことなどを掲載しております。

それで続きまして、5 ページが「西淀川区がめざす将来像」ということで、「活気
があり、笑顔にあふれ、常に進化するまち 住みたい、事業したいと選択されるまち
へ」ということでさせていただいております。

次の6 ページ、7 ページですけれども、6 ページには、官民共創の推進、7 ページ
にはSDG s 達成の推進ということで、この2つの項目を基本としながら、次の8 ペ
ージ以降の5つの柱について実施をしていこうと考えております。5つの柱について
順に説明させていただきますと、9 ページの「地域コミュニティの活性化」ですけれ
ども、施策展開の方向性としましては「地域活動が活発なまち」「製造業が安心して
操業できるまち」「商業が元気で活気に満ちたまち」としておりまして、成果目標と
して「町会加入率65.4%以上、区内企業ネットワークに参画する企業150社」とさせ
ていただいております。

続きまして11ページ、「健康で安心・安全な地域づくり（健康編）」としまして、
施策展開の方向性としましては「区民が自らの健康に関心を持ち、主体的に健康の維
持・増進に取り組むことで、健康寿命の延伸を目指す」ということで、成果目標とし
まして、「大阪市がん検診受診者数を令和10年度までに1万4,235人」ということで、
令和元年の受診者数以上としております。令和2年以降、コロナで受診者数が減って
いるところ、元の受診者数に戻すということを考えております。

続きまして13ページでございます。「健康で安心・安全な地域づくり（防災編）」
という

ことで、施策展開の方向性としましては「災害対応力の高いまちをめざす」ということで、成果目標は「防災教育プログラムを令和7年度までに全小・中学校で実施、その後も継続実施」、そして「優先度の高い要支援者で希望する方の個別避難計画を令和8年度までに完成」とさせていただいております。

続きまして15ページでございます。「健康で安心・安全な地域づくり（防犯・安全編）」ということで、方向性としましては「交通事故や犯罪がより少ない状態をめざす」ということで、成果目標としては「街頭犯罪発生件数 年間600件以下」ということで、令和5年度は712件ございました。そして「交通事故発生件数 年間200件以下」を目標としておりまして、令和5年度は240件ございました。

続きまして17ページでございます。「未来を担う人材の育成」ということで、施策展開の方向性としましては、「孤独・孤立を防ぎ、子どもと保護者に寄り添えるまちづくり」「西淀川区の子どもたちが生き生きと育つ環境整備、外国人住民が安心して生活し、活躍できる状態を目指す」ということで、成果目標としましては「西淀川区子育て応援サイト「ほっとえーる」総ユーザー数を令和10年度までに未就学児人口の50%」ということで、やはり様々な情報が届かないことにはなかなか寄り添えるまちにならないということで、これを成果目標とさせていただいております。

続きまして19ページの「魅力と活力あふれるまちづくり」でございますが、方向性としましては「区民主体の美化活動が普及し、環境に優しくきれいなまちをめざす」「官民共創推進により選択されるまちとしてのまちの魅力向上を図る」ということで、成果目標としましては「大野川緑陰道路クリーン活動開催時の参加者数2割増」と「企業等との共創事業件数、毎年度10件以上」とさせていただいております。

あと21ページ「DXの推進による市民QOL向上」ということで、方向性としましては「ICTリテラシーが向上し、区公式LINEなどの伝わる情報発信がさらに充実している状態をめざす」と「区役所関係の手续やストレスなく便利で簡単にできる状態をめざす」ということで、成果目標につきましては「区役所公式LINEアカウ

ントの友だち登録者数が毎年度1,000名以上増」、「コンビニ交付率が令和8年度までに62.8%以上」ということでさせていただいております。

この将来ビジョンについてグループ討議をいただき、皆様のご意見をお聞かせいただきたいと思います。そして本日いただいたご意見を参考に、将来ビジョンを作成し、次回の区政会議で最終案とさせていただいて、皆さんに再度ご意見を伺おうと思っていますので、皆様のご議論をよろしくお願いいたします。

それでは、今からグループ討議に入らせていただこうと思いますので、記録者と議長・副議長、そして区役所職員はテーブルへの移動をお願いいたします。

(意見交換)

○西尾政策共創課長

それではお時間となりましたので、取りまとめた意見を各テーブル、大体3分程度で発表いただきますようよろしくお願いいたします。

それでは、まず先に発表いただけるチームの方はおられますでしょうか。せっかくだから前に出てきて。

○藤江委員

このグループで話をしました。どれがという話もあったのですが、どれも大事だという話になりつつも、話をできるところで。まず「未来を担う人材の育成」、次に「地域コミュニティの活性化」「健康で安全・安心な地域づくり」に話を進めていきましたけど、進めながら「これはどれも一緒やん」という話になりまして、先に結論を言わせていただくと、やはり顔の見える関係づくりをすることが大事であって、それをするために声かけが基本になると。それは企業でも子どもでも外国の方でも大人同士でも同じで、そういうコミュニケーションができる場をつくっていくと、それがイベントだったり夏祭りであったり、防災訓練、まずはそこに参加をしてもらう。結局外国の人でも見ているけど参加をなかなかしてくれないので、何とかその人たちに声かけをして参加をしてもらう。参加してもらったら、その人たちもそこで居場所が

できるので、次からも関わってもらえるのではないかということになりました。

今までで「ここはもう少しやったほうが良いのではないか」というのが、活動したことをもっと報告したり発信することができていなくて、「来たら楽しい」とやっている人は分かるけれども、その楽しさがそれをやっていない人に伝わっていないので、地域の活動もできるだけそうやって発信することで、もっと来てくれる人が増えるのではないか、ということをしていました。

企業と地域のつながりについては、やはり企業が地域活動、地域のボランティア活動にもっと後押しをしてもらえないかと、そうすることで平日の昼間、夕方とかにちょっと出やすくなったり、土日に関わりやすくなればいいのではないかと、そうすることで企業側にとっても、その人たちが健康になれるとか、退職後にも地域の居場所を得られるということだから、企業にとってもプラスではないかという話をしておりました。企業が上手くそういうことに参画をしてくれたらもっといいということです。

外国人の方に地域に関わってもらおうという点でいうと、「出来島地域が結構上手くいっているのではないか」ということがここで噂になっていまして、ぜひ取り入れたい、見習いたいという話がありました。よその地域にお住まいの方は、西淀川がこんなに祭りをたくさんやっているのはすごいと、どんどんなくなっているところに比べれば、やっているというだけでもすごいということです。

8月の地震が、先ほども区長のお話でありましたが、今やはり皆そこに関心が向いているので、防災をアピールする大チャンスだということで、もっと子どものこととかで防災に取り組めば、ジュニア防災リーダーとかの育成もできるのではないかという話です。

最後に自転車、僕が推したので言いますが、子ども自転車教室とか、に～よん自転車免許とかを発行して、もっと安全に乗れるようにしていけばいいのではないかと、ということで終わりました。

以上です。

○西尾政策共創課長

ありがとうございました。

それでは次の班は、どうぞ、その奥の班お願いします。

○西垣委員

私の班は、やはり何をするにも町会がベースになるのではないかというところがありました。防犯にしても、防災のことにしても、町会に入ってもらって、人と人のつながり、地域のつながり、顔の見えるつながりというのがやはり大切ではないかという話になりました。顔の見えるつながりができることで、防犯意識も高まったりとか、安心して話せる相手が分かるとか、海外の人に対してもそういう町会とかのPRをすることで入ってもらい、防犯とかにもできるのかなという話になりました。町会に入ってもらいということで、転入時に小学校で配っているような「町会ってなあに？」という冊子をPRとして渡してもらったりとか、あとは町会のイベント行事であったりとかというのになかなか入りづらい、外から来た人というのは、なかなか行ってもいいのかなという不安があったりとかするので、こういうイベントをやっていますという一覧じゃないですけど、そういうPRというのも渡してあげることで入りやすいのかなという話になりました。町会に入らないことで「回覧板が回らなくて町会のこと分からない」というのもあるので、回覧板は昔からの手間のかかることですが、人とのつながりを大切にするためには大事ではないのかなということも出ました。イベントなども誘ってくれる人がいれば行きやすいのかなというので、そこもやはり人とのつながりというところがベースになってくるかなという話になりました。こんな感じでいいですか。

ありがとうございました。

○西尾政策共創課長

ありがとうございました。

それでは次のチームはどちらでしょうか。では、前のチームお願いいたします。

○矢口委員

私たちのグループで注目したのは「地域コミュニティの活性化」「安全な地域づくり」、これをテーマに考えてみました。まず問題点として、町会になかなか加入してくれない。その問題点を話し合っているうちに「地域に興味を持っていないのはなぜか」「つながりがないのはなぜか」という話になり、何より人が集まってコミュニティを行えるようなイベントを活性化する、もちろん毎年やっていることを同じようにすることも大切だとは思うのですけれども、ちょっと目新しいものを入れることでちょっとパワーアップする、そういったことがちょっとずつ進めていけたらいいな、そうしたら人もたくさん集まるだろうな、そういったことで人が集まると、親も集まる、子どもも集まる、興味がなかった地域の活動に「では加入してみようか」といった気持ちになる、そういったことから活性化につながるのではないかとということです。イベントをするに当たってまた一つ問題点が出てきまして、交通の便ですね。例として区民まつり、非常に大きくて素敵な祭りですけども、ちょっと交通の便が悪い。イベント用のバスとか、例えば企業や区役所が、ちょっとそういったものをお手伝いしていただいて、皆で祭りを盛り上げたら、送迎バスがあればまた一段と人も集まるのではないか。「ちょっと遠のいていた足もバスが近くまで来ているんだったら行こうじゃないか」というふうになるのではないかと、ということで、そういったことにも協力していただければいいかなという案が出ました。コミュニティが活性化すると知っている人がたくさん集まる、そこから私たちも思っていた安全な地域の活性化、こちらにもつながっていくのではないかとということになりました。

うちのチームはこんな感じです。ありがとうございます。

○西尾政策共創課長

ありがとうございました。

それでは最後のチーム、よろしくお願いいたします。

○松岡委員

お話の上手なメンバーが多いチームですので、ほとんど付箋は貼らせていませんが、いっぱい話をしまして、1つテーマを選んで、地域コミュニティの活性化という項目について基本的にはお話をしました。3つほどに分けてしゃべりたいと思うのですが、最初に出た話が「高齢者の方が地域コミュニティに入っていく難しさがあるよね」という話で、特に男性の高齢の方とか、なかなか難しいねという話です。民生委員の人に女性の方が多くて、男性の家とかに行きづらいのではないかなとか、民生委員自体が年齢層が上がってきて、もうちょっと若い人や男性の方もいたら、いろいろと話が聞けてコミュニティに入っていく方法とかも考えられんじゃないかなという話がありました。

その後、町会の加入率を上げるというところに終始力を注いで話したわけですけど、「何で町会費を払ってくれないのだろう」とか「払ってほしい」、「これが急激に減っていることがやはり苦しい」みたいな話になりました。まず海外の方が増えているというお話で、「何かとお祭りには出てくるけど、ボランティアごとになると出てこない」などいろいろと困り事もありながら、「海外の人たちのコミュニティをつくってもらって、私たちのいろいろなコミュニティともつないでくれる人がいたりしないかな」とか、「コミュニティとコミュニティは共存していくものだから、そういう動きで一緒のコミュニティができて、海外の方も参加してくれないかな、町会費を払ってくれないかな」という話があったりとか、「区政会議の場に海外にルーツのある方に来てもらおうとか、委員で誰か代表で来てくれないかな」という話とかはありました。

その後も終始「なぜ払ってくれないかな」みたいな話になるわけですけど、「なかなか新しいマンションが手強いな」という話があったり、「払いたくない、何となく町会費を払わないのが正論みたいな雰囲気も感じているな」という話で、「なぜ払いたくないんだろう、入りたいくないんだろう」というところで、区民アンケートの結果でどういうことが出ているかをもう一度確認したところ、役員をやりたくないとか、どのように町会費が使われているか分からないとか、そもそも金銭的にこの数千円、

数百円が払えないということがあるということで、「払えない」という問題はなかなか解決しようとするのは難しいので、「使い道が分からない」というところ、「こういうふうに使っていますよ」という説明は努力をしてずっとやってくださっていますけど、ここをほかにどうしたらいいかという話で、説明しているつもりだけど、今年から子どもたちに学校で配布されている冊子を私たちも見たいし、「新婚さんで子どもがいない家庭とか、その冊子自体がどのように使われているか分からない人たちに渡せるものにならないか」みたいなお話があったりとか、「それが子どもにも分かるような優しい言葉で書かれているなら、海外の方向けの外国語バージョンであってもいいのではないかな」という話をしました。

以上です。

○西尾政策共創課長

ありがとうございました。

それではここで、全体で意見交換を行いたいと思いますので、議長・副議長は席に戻っていただいてもよろしいでしょうか。

お願いいたします。

○大垣議長

今グループ討議をして発表を4つのグループにやっていただきましたのですが、ありがとうございます。これに全体としてまた何かご意見がありましたら挙手でお願いいたします。お名前もよろしくお願いします。

どうぞ。それでは言いにくそうですので、副議長から少しだけ話してくださいますか。

○矢口副議長

私の意見でいいですか。全体の話で。

○大垣議長

はい。何でもいい。

○矢口副議長

今グループで発表していただいたこと、どのチームも「地域コミュニティの活性化」につながるお話がたくさん入っていたので、やはり地域コミュニティ、力があると皆さんもやはり思っていらっしゃる感じで、ここを強くしたら、西淀川区はそもそもいい地域でつながりもたくさんあると思うのですけれども、いいところを伸ばしていければ、さらにすばらしい活性化につながっていくのだなというふうにお話を聞いていて思いました。すばらしい意見で、ありがとうございます。

○大垣議長

今意見を言ってくれましたけど、僕も「何か少し話して」と言われていますので言いますけれども、本当に今西淀川の活性化を図っていくということでいろいろなことを言っていますが、「人に何かを頼もうとすると、やはり頭を下げなあかん」ということで、この間の納涼大会も盆踊りも行ったのですが、下手くそな盆踊りで踊らせていただいたのですが、「踊ってるねんけど何か全然違うな」というような形の中でも、一つ中へ入って行ってあげると皆との交流が取れるというのも、また1つの方法になって行って、これからの前向きな形になっていければいいかなということで動かさせていただいておりますけど、何かやってあげないとやはり人はまた寄ってこないかなというのもありますので、いろいろな形で皆さんもまた協力し、それとまたある程度高齢者の方は、若い方に少しでも教えて行ってあげてということで、まだコミュニケーションが取れていくのではないだろうかと思いますので、その辺で前向きの形でやっていければいいかなというように、何かほかに意見がありましたら、どうぞ言ってください。どんどん言ってください。今4グループでしゃべっていない方で、「ちょっとだけ喋ってやろう」という方が出てきましたら、挙手をお願いします。遠慮しなくていいですよ。もう遠慮せずに、普通にざっくばらんに喋ってもらって。

どうぞ。

○大西委員

こども食堂「くるる」の大西と申します。うちのグループは特に祭りとかイベントのところで地域を活性化させてコミュニティの強化をということで話をしていきまして、今皆さんの発表を聞きながら「おっ」と思っていたのが、子どもたちがイベントの企画・運営というところに慣れていけば、将来地域のイベントにもっと巻き込みやすくなるのかなと思ったので、各小・中学校とか高校に、どうせ部活が必須で入らなければならないのであれば、イベント企画部のようなものをつくってもらえたら、地域にたくさん出てきてもらえるのではないかなと思いました。

以上です。

○大垣議長

いい意見が入りましたね。

あとは。何でも結構ですよ、何でも結構です。自由時間ですので。

麻井さん、どうですか。

○麻井委員

大丈夫です。

○大垣議長

もうよろしいでしょうか。何かもう少し話してもらっていいですよ。これをしながらデータを集めて、もう一回またやるんですよ。

○西尾政策共創課長

はい。

○大垣議長

そんなことを言うておりますけど、取りあえず仲間の中へ入っていけるような形を取っていったらあげればいいかなと思いますので、それでまた町会加入ということになっていければ、もう一つ前向きに行くのですが、それと各行事をやってくれたらいいので、その後のフォローというのですか、写真を掲示板にも貼るなどして「このぐ

ら이었다たら1回参加してもいいのではないか」というような気持ちなるようにしていくのも、また1つの方法かなと思っております。

もうよろしいでしょうか。

○西尾政策共創課長

はい、ありがとうございます。

○大垣議長

それでは、ご出席いただいております区選出の市会議員・府議会議員の皆様方から、議事を踏まえて意見をよろしく願いいたします。

取りあえず1番で、佐々木先生から行きます。そちらから、すみません。

○佐々木議員

どうもこんばんは。今日はちょっと遅れまして、申し訳ありません。各テーブルを回らせていただいて、本当に西淀川のことを思ってふだんから皆さんはいろいろな意思を持って活動していただいているなと思いました。本当にご意見一つ一つが貴重なもので、それぞれのテーブルで発表していただいた中で、顔の見える関係づくりとか、また地域コミュニティ、町会が大事だという、それはすごく共通して出られていたのが、本当に僕も実感するところで、やはり、地域の結びつきの強いところが子育てでも高齢者の課題でも、また防災の問題でも本当に大事だというのは、皆さん共通して感じられているのではないかなというふうに思いました。コロナ以降、いろいろな行事がなくなっていったのですけれども、今年僕は全地域に夏に回らせていただいて、夏のお祭りとか、盆踊り大会とかに行かせていただいたのですけれども、あれってすごいなと思いました。今皆さんがお話をされているのを聞きながら思ったのですけど、町会で例えば屋台を出しているところなどは、何か防災のときにもうそのままそういう経験が生きていくとか、いろいろな1つの行事をするのに前からいろいろとお話をして企画して、それまで大変だっただろうなと思いながら、でもそういうのって、また何か防災というか地震とかが起こったときに、そうやって話し合っって一緒に動い

ていこうということができていれば、いざというときに安心だというふうにも思いました。

あと一つ、人材育成みたいなのところすごいなと思ったのがお祭りですね。神社のお祭りで、だんじりをやっているところ、上からもう本当に先輩方から若い子まで一緒になって、そして力を合わせて動いている姿を見て、そういう組織ってすごく大事なだと、何かヒントになるような感じがしました。本当にこの西淀川、結びつきという面ではほかの区よりもすごくあると思うのです。町会の加入率も、意外と西淀川は高いです。というか、すごく高いです。大分今減ってきていますし、この前不動産関係の方に聞いたら、やはり新しいところはワンルームマンションになっていく。それは収益が高いみたいなのですよ。そういう傾向があって、そんなことも課題だと思いつながら、でもうまく巻き込んでいくことも大切だとすごく感じています。またいろいろな貴重なご意見、今日は結構フリートークだったので、いろいろなそういう声が聞けて、私もまたヒントをもらいながら、どうすれば市政でそれをバックアップというか、後押しできるか、またしっかりと研究してまいりますので、よろしくお願いします。今日は本当にありがとうございました。

○大垣議長

ありがとうございました。

それでは続きまして、市会議員の山田かなさんからよろしくお願いします。

○山田かな議員

皆さん、お疲れさまです。遅い時間から本当に恐縮します。

この4年後を見据えた政策ということで、いろいろなアイデアが出ていまして、今日すごく特に印象に残ったことですが、自転車の練習だとか運転だとか、あとイベントのときの巡回バス、あと地域イベント化という子どもを巻き込む、学校を巻き込むという、こういうすばらしいアイデアが出るというのは、本当に日頃から皆さんが地域のことを考えているからだだと、また即実現しそうな、できそうな内容だだと感心

いたしました。

あと、私も今年にすごく盆踊りとかを楽しみで回らせていただいたのですが、顔の見える関係性と、今のデジタル社会、これを顔の見える近さと、ちょっと遠い方の関係性と合わせながらデジタルを上手に使って如果能たら、今スマホの普及率は90%を超えていますので、地域のコミュニティグループLINEのようなものを作るとか、公式LINEがありますので、そういったこととかもデジタルで補える時代がもうそこまでやってきているのだなというのを実感しておりますので、ますます皆さんが何かつながるきっかけに私たちもなれたらいいなと思っております。

ありがとうございます。

○大垣議長

ありがとうございました。

続きまして、府会議員の中川先生からよろしくお願いします。

○中川誠太議員

皆さん、こんばんは。本当にありがとうございます。たくさんのご意見をいただきまして、本当にありがとうございます。

私から大きく2つあるのですが、本当に今町会の加入率が減っている中でありますが、日々昼夜、町会の加入率を促進するために、町会の皆様が頑張っていると思います。同時にやはりもっと区役所も一緒になって町会加入率を上げていくことも、方法によったらできるのではないかなと思いました。西淀川区はLINEの登録者数がすごく多いということでもありますので、そこもデジタルというのをしっかりと活用しながらやっていけばいいのかなと、同時に紙媒体もこれから残していくというのも非常に大事だと思いますので、デジタルと紙媒体をしっかりと融合させながら、町会加入率を上げていくといいますか、それをしっかりとやっていく、また引っ越しした方も西淀川区役所に必ず来るわけですから、そこでしっかりと声かけを、勧誘といいますか、加入をする促しをしっかりとさせていただくというのも1つ、本当

に大事なところなのかなと思います。顔が見えるというのは非常に大事だと思います。また確かに佐々木先生も先ほどおっしゃったように、ワンルームがたくさん今増えてきています。ワンルームの中にも不動産会社がたくさんできて協議をしていくことになると思うのですが、それが入らないというのが結局はあるのです、ワンルームの皆さんが。それで諦めてしまうのは非常にもったいないなと私は思っていて、1回限りかもしれませんが、不動産会社には必ず地域対策費というお金があります。それでしっかりとお金を徴収していただいて、金額は数百万単位で地域対策費として、マンション1軒1棟を建てても、その対策費として必ず「何か地域の人にいろいろなことを言われたら、もうこれで収めてください」というのが、やり方はおかしいのですが、そういうのがあるのですよ。ですので、町会の加入はしていただけないけれども地域対策費というのをしっかりと徴収していただいて、自治会の運営に生かしたらいいのかなと思います。とにかく、これから我々もしっかりと「西淀川区はわくわくする楽しいまちだ」ということを、多くの皆さんに伝えたらいいかなと思っています。これからもよろしくお願いします。

皆さん、お疲れさまでした、ありがとうございます。

○大垣議長

ありがとうございました。3人の先生方、どうもありがとうございました。

続きまして区長から、本日の議事に対しての総括コメントをよろしくお願いします。

○松田区長

皆様方、非常にいろいろと活発なご意見を交換していただきましてありがとうございました。大変参考になりました。何らかの形で地域の皆様が有機的につながっていく、つまりつながるということが非常に大事であるという認識でおありという部分は、区役所としても非常に心強いところでございます。その中でも「海外にルーツをお持ちの方々はどうつながっていったらいいのだろう」という非常に皆様が前向きに考えておられるところ、これは本当に懐の深さというか、西淀川の懐の深さ、人のよさ、

そういうふうに感じています。今大阪市の大きなテーマとして、ご存じのとおり、多文化共生、そんな話も出ていますけれども、では具体的にどうしていったらいいのか、今のところは絵に描いた餅のようなことがたくさんあるのですけれども、防災に併せて24区の中でも、そういう多文化共生の地に足のついた現実的な取組については西淀川がモデルケースになって、前衛的な取組を行って行って、「大阪で一番だね」と言われるような地域になればいいなと、今日は皆様の議論を聞いて思った次第でございます。

それから、やったことに対する情報発信というお話もございましたけれども、これに関しましては、私も大いに感じるところでございまして、区政ニュースをはじめ、情報の発信の仕方という部分は大いに検討の余地があるかなと思っていますので、これも次年度以降も積極的に取り組んでまいりたいと思っております。今日はどうもありがとうございます。

以上でございます。

○大垣議長

ありがとうございました。

その他、事務局から何かありますか。

○西尾政策共創課長

今日いただいたご意見を、次回の区政会議で反映させていただいて、皆さんに再度ご議論いただこうと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

次回の区政会議は、11月19日火曜日、18時30分を予定しておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは議長、最後をお願いいたします。

○大垣議長

それでは、ありがとうございます。

最後に、副議長からよろしくお願いいたします。

○矢口副議長

地域について話し合いをするうちに、地域の悩みですね、1人でできないということもチームで考えればできるようになるんだと感じた会議になりました。次回もよろしく願いいたします。

○大垣議長

ありがとうございます。本当に皆さん、ありがとうございました。

これをもちまして、進行を終わらせていただきますけど、少しだけコマーシャルを言わせてください。今日こういう形で用意をしていただいて、皆様方で意見を交換されましたけれども、その中で西尾政策共創課長からもありましたけど、「MAIDOにしよど」というもので、もう一つ若い人たちを集めて、またお話の会をということで、10月18日にやりますけど、「こんなことをしようか」と言ってくれる感じのものでありますので、1回のぞいてほしいかなと思いますので、よろしくお願いします。その中で、今回が第3回になっていますけど、第2回的时候にいろいろとお話がありまして、ここに今出来上がってきたものがありますので、藤江さん、お話、よろしく頼みます。

○藤江委員

ついでに宣伝させていただきます。「MAIDOにしよど」はコロナで中断をしたのですけれども、これはいろいろな人、100人以上の人が集まって、何か西淀川を面白くできないかということで、いろいろなアイデアを出し合う会だったのですけれども、その中でいろいろなアイデアが出て、「大野川緑陰道路をもっと活用してアピールできないか」とかがあって、そのうちの1つに、「矢倉緑地をもっと使えないか」という意見がそのときに出ていました。ほかにも音楽祭、音楽フェスをやりたいという意見も出ていまして、それをコロナが明けて、明けていないときも考えていましたけど、実現しようということで、この区制100周年に合わせたイベントとして、にしよど音楽祭というのを始めております。そのうちの一环で、今回11月4日に野外音楽

フェスティバル i n 矢倉緑地ということで、皆さんも行かれたことがあると思いますが、矢倉緑地の緑の丘、大阪湾を前にした抜群の風景の中で音楽祭をやるので、無料でございます。ぜひご参加ください。できればこうやって使えるよということをアピールしつつ、あの場所をもっといい場所になっていけばと思いますので、またそういうアイデアも次の「MAID O にしよど」のときにでも言っていただいて、さらに広げていければなと思います。よろしくお願いします。

○大垣議長

ありがとうございます。今言われたようにこうやって、まちづくりのいろいろなイベントをこのように考えながら前へ進めていって、また人を集めていきたいなというような気持ちが西淀川全体にありますので、よろしくお願いしますということです。ありがとうございました。

これで終わらせていただきます。ありがとうございました。